

東北・中部等ブロック1-4

《東北・中部-1.日帰り富士山五合目ハイキング》

(2) 日帰り富士山五合目ハイキング

項目	内 容	説 明
ツアー名	日帰り富士山五合目ハイキング	日帰りで世界遺産登録の富士山中腹(五合目)をハイキング。
対象・目的	日本人が古代より崇拝してきた富士山の山歩き体験。	日本の世界文化遺産訪問 自然(火山、高山植物)とのふれあい スポーツ(登山)体験
参加条件	特になし	3時間以上歩ける方
ツアーの出発地 交通機関	JR 御殿場駅 改札口集合・解散 御殿場駅と富士山五合目との往復はタクシー利用、それ以外の区間は徒歩	
ツアーコースの概略	御殿場駅～富士宮口五合目(標高 2,300 m)～宝永山火口～御殿場口新五合目(標高 1,450 m)～御殿場駅	標高の高所から低所を下るコース、所要時間 5 時間(内 3 時間はハイキング) 悪天候時は中止
交通費	16,000 円	タクシー代(御殿場駅～富士宮口五合目、御殿場口新五合目～御殿場駅)
入館料	0 円	
オプションツアー	和菓子屋の原点「とらや工房」で作り立ての和菓子を堪能。	御殿場駅から車で 15 分 火曜日定休
希望ツアー料金	2 名以上参加の場合：8,000 円/人 1 名参加の場合：16,000 円	タクシー利用のため、1 人参加の場合には割増料金
最小催行人数	1 名	
希望ガイド料	1 グループにつき 20,000 円	
協力者の募集の有無	有り：山岳ガイド	登山サポート
TJT への希望	プロモーション用動画制作	

※ツアー紹介マップ



《東北・中部-2.青木ヶ原樹海の苔の鑑賞トレッキングツアー》

募集様式

項目	内 容	説 明
ツアー名	青木ヶ原樹海の苔の鑑賞トレッキング ツアー	青木ヶ原樹海で森林浴をしながら苔の鑑賞トレッキングツアー
対象・目的	◎アドベンチャーツーリズム ◎持続可能な観光(SDGs)	・「自然とのふれあい」 ・「文化交流」 ・「フィジカルなアクティビティ」

参加条件	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者としては、初級向けレベル2（右記説明参照） ・トレッキング愛好者 ・登山歴はなくても、ジョギング・サイクリング等フィジカルなスポーツ習慣を持つ者 ・服装規定を守る者 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨具、昼食、ドリンクなどの装備を入れた7キロ程度のザックを各自持参すること <p>参考</p> <p>レベル1 平地であれば歩ける人 レベル2 平地と多少の行程差があっても歩ける人 レベル3 簡単な登山(コースタイム3時間以内) レベル4 日帰り登山(コースタイム4時間以上) レベル5 日帰り登山(コースタイム6時間以上)</p> <p>富士山は、最低でもレベル5以上の方にお勧め</p>
ツアーの出発地 交通機関	富士急行 河口湖駅改札出口 定期巡回バス(西湖周遊バス、グリーンライン)を利用	◎代替交通機関 バスタ新宿から高速バスで河口湖駅へ
ツアーコースの概略	<p>現地で、1時間の散策コースが基本。</p> <p>オプションで、以下も提供できるが、3時間～4時間コースになるためオプション追加料金一カ所あたり¥5,000(2人目からは¥3,000)がかかる。</p> <p>① 富岳風穴(有料)、徒歩かバスで ② 鳴沢氷穴(有料)、徒歩かバスで ③ 道の駅「なるさわ」と富士眺望の湯ゆらり温泉(有料) バスで</p>	<p>青木ヶ原の樹海には、土が数cmほどの厚さしかなく、1150年前の爆発で流れた溶岩の上に樹木が根を張って溶岩を掴むように生えているため、20m以上の背の高い樹木は倒れてしまう。(これが高さの均一な樹海を生んでいる。)樹木の根がむき出しになっており、苔が生息している神秘的な森。京都の西芳寺では地面や木の幹に生息している苔で有名だが、青木ヶ原では、天然の樹木の根に生息している苔が見られる点が異なり、ユニークさがある。また、人によってよく手入れされている京都の苔寺とは一味違った野生の樹木の根に生えた自然の苔を鑑賞することで、人の手によらない、1000</p>

		年以上に渡る時代の流れを感じることができる。モミ、栂、ヒノキなどの針葉樹にミズナラなどの広葉樹が生い茂る原生林も魅力的。林道も比較的歩きやすく、初心者でも問題ない。
交通費	河口湖駅までは、ツアー客の自己負担。	河口湖駅までは各自で支払い、現地の移動バス代、入場料は、ツアー代に含む。
入館料	無料（オプション3つは有料）	青木ヶ原の樹海のみ無料
オプションツアー	3か所から選択。	① 富岳風穴(有料)、②鳴沢氷穴(有料)、③道の駅「なるさわ」と富士眺望の湯ゆらり温泉(有料)
希望ツアー料金	申し込み時に、1人の場合¥15,000 per person（税込み）、2人の場合¥7,500 per person（税込み）、3人以上の場合、3人目から ¥3,000 per person（税込み）	基本コースは申し込み時に、 1人の場合 ¥15,000 2人の場合 ¥15,000 3人の場合 ¥18,000
最小催行人数 希望ガイド料	1人 上記金額から税とバス代とTJTへのloyaltyを引いた額	1人
協力者の募集の有無	有り（条件有り）	条件：樹海を歩く自信のある方
TJTへの希望	① ツアーづくりの助言 ② 樹海に関する研修の実施 ③ プロモーション用の動画の制作 ④ お客様用のトレッキング団体障害保険等はあるのでしょうか？（お客様がツアー中にけがをされた場合に備えておたずねしています。） ⑤ TJTのWebサイトで自分の企画したツアー情報を自分で更新できるようにしていただきたい。	

マップ



上の地図は、西湖ネイチャーセンターの前にあった看板のそのままの写真です。(著作権の取り扱いにご注意ください。)

樹海内の写真





《東北・中部-3.高岡（富山）サイクリングで巡る伝統文化と錫のぐい呑み》

応募ツアー # 2（富山県高岡市）

項目	内 容	説 明
ツアー名	高岡（富山）サイクリングで巡る伝統文化と錫のぐい呑み作り体験ツアー （瑞龍寺、金屋町、山町筋、高岡大仏、など）	<ul style="list-style-type: none"> ・国宝の瑞龍寺 ・伝統文化の街並 ・伝統工芸品のモノづくり体験 ・世界無形文化遺産の山車を観賞 ・日本三大大仏のひとつである高岡大仏
対象・目的	<ul style="list-style-type: none"> ◎アドベンチャーツーリズム ◎モノづくり体験 ◎SDG s 観光 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史・伝統文化に触れる」 ・「伝統工芸品製作体験」 ・「環境にやさしく健康的な観光」
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の運転ができること 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタル自転車（街乗り用タイプ）を使用、コースもほぼ平坦なので、高度な運転技術やスポーツタイプの自転車運転の経験は不要
ツアーの出発地 交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡駅（富山県）観光案内所前集合（集合時刻 10：15） ・交通 -富山駅から：あいの風とやま鉄道で20分程度 9：42 発→10：01 着 -新幹線新高岡駅から： <ul style="list-style-type: none"> ①路線バスにて約10分（約10分間隔で運行）9：59 発→10：07 着 ②JR城端（じょうはな）線で約3分（約1時間に1本の運行）9：28 発→9：31 着 	<ul style="list-style-type: none"> ◎東京発の場合： <ul style="list-style-type: none"> 7：20 東京発（北陸新幹線かがやき503号）→9：30 富山着 9：42 富山発（あいの風とやま鉄道）→10：01 高岡着 （計13,330円 指定券込み）
ツアーコースの概略	<p>高岡駅～（自転車）～国宝瑞龍寺参拝 ～（自転車）～金屋町散策と錫のぐい呑み作り体験（昼食） ～（自転車）～山町筋（御車山会館） ～（自転車）～高岡大仏～（自転車） ～高岡駅</p> <p>（タイムスケジュール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10：20 高岡駅出発 瑞龍寺参拝 ・11：45 金屋町散策 錫のぐい呑み作り体験 ・13：00 昼食 	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡駅観光案内所にて自転車をレンタルし、エコで健康的に、かつ効率的に観光地を巡る ・午前中の比較的すいている時間帯に国宝瑞龍寺の荘厳な雰囲気を楽しむ ・江戸時代から銅、真鍮、錫などの金属加工の街として栄える高岡、その中でも職人の集まった街である金屋町。昔ながらの石畳と千本格子の街並を散策後、歴史ある工房にて、錫のぐい呑みづくりを体験

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14:30 山町筋（御車山会館拝観） ・ 15:30 高岡大仏 ・ 16:30 高岡駅にて解散 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵造の街並である山町筋では、御車山会館でユネスコ無形文化遺産にも登録された御車山祭りで使われる山車を見学 ・ 日本三大大仏にして、もっともお顔がイケメンと言われる高岡大仏を参拝
交通費	レンタル自転車代（300円）	集合場所（高岡）までの交通費は各自負担 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山～高岡：片道 370円（あいの風とやま鉄道） ・ 新高岡～高岡：片道 160円（加越能バス） ・ 東京～富山：12,960円（北陸新幹線かがやき 指定券込み）
入館料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑞龍寺拝観料：500円 ・ 錫のぐい呑み作り体験：4,400円 ・ 御車山会館 観覧料：450円 	←錫の加工品は、 <u>ぐい呑み以外にも箸置き、小皿、ペーパーウェイト等も選べます</u> （←その場合体験料金は3,300円 ※1） ※自身で彫った紋様を入れた錫製品は箱入りにしておみやげになります。（商品代込み）
オプションツアー	なし	
希望ツアー料金	18,000円/人 （※1 <u>ぐい呑み以外の製作を希望する場合は△1,000円/人</u> ）	レンタル自転車代、入館料、体験料（出来上り品の代金=約3,000円相当込み）を含む （昼食代は各自負担）
最小・最大催行人数	2名（最大8名）	工場の規模から、同時に製作体験のできる人数として最大8名とした。
希望ガイド料	基本料金 15,000円/ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様2名まで ・ 1名追加毎にプラス2,500円
協力者の募集の有無	募集する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にオンライン講習受講要 ・ 高岡までの交通費自己負担でガイドできる人
TJTへの希望	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロモーション動画の製作 ・ ツアー料金等の設定金額についての助言 	



瑞龍寺 (国宝)



金屋町
(石畳と千本格子の街並)

錫のぐい呑み
(出来上がり品)



高岡
御車山祭り



高岡大仏

《東北・中部-4 Cruise Japan + Land Tour》

5 募集様式

項目	内 容	説 明
ツアー名	Cruise Japan + Land Tour	日本船「商船三井にっぽん丸」の1泊から3泊のショートクルーズに、前後の送迎+オプションツアーをつけて一週間程度のツアーに。
対象・目的	1週間で日本を巡る。クルーズもランドツアーも濃厚に楽しみたいヤングエグゼクティブ向け One week tour	老人対象のダイヤモンド・プリンセスなどのクルーズは、通常は10日から2週間かかる。にっぽん丸ならショートクルーズも提供可能 しかも英語での販売をしていない。
参加条件	乗船にはワクチン接種必須 車いす可	クルーズ船のヘルスプロトコルはかなり厳しいです。 https://www.nipponmaru.jp/infection/
ツアーの出発地 交通機関 ツアーコースの概略	クルーズは横浜・名古屋・神戸・広島 島の港発着。往復またはワンウェイ。ツアー仕立ては、空港から港、またはホテルから港への送迎+寄港地と乗下船前後のオプション	美食の船として名高いにっぽん丸のグルメクルーズへの送迎と、各港でのガイド付きツアーのセットアップ

	ツアーの追加	
交通費	クルーズ代金はバルコニー付きのお部屋で、一人一泊 12 万円ぐらい。	
入館料		
オプションツアー	その単価に見合った格式のオプションツアーの設定が必要ですね。	
希望ツアー料金		
最小催行人数	富裕層は庶民的なガイドでは満足しないので。	
希望ガイド料		私はクルーズについてインプットおよび手配をしますので、オプションツアーや送迎の設定は協力者と行いたいです。 クルーズのお客さんの好みなどはインプットできます。
協力者の募集の有無	各港に必要です。	
TJT への希望	<p>世界中に船マニアはいますが、このにっぽん丸はレア中のレア。日本の代理店しか扱っていないので、外国人はなかなか乗れません。英語で告知すれば必ず乗りたいという人が出てきます。</p> <p>また外国人がよく乗るダイヤモンド・プリンセスなどの大型船のクルーズは 10 日から 2 週間の旅行日数が標準。リタイアしたシニアが主な顧客で、一週間程度でコンパクトに日本を回りたいというエグゼクティブには対応できません。</p> <p>ここににっぽん丸でクルーズ＋ランドツアーを提供する勝機があると思います。</p> <p>ただし にっぽん丸は船内言語も船設定のツアーも全て日本語なので、各寄港地でお客様をお迎えして外国語でご案内するツアーを追加する必要があります。</p> <p>これによりツアー単価も上がりますし、各地の皆さんのお仕事のチャンスも増えます。</p>	

2021 年 10 月よりにっぽん丸のクルーズは再開しています。

今のところ予定が決まっているのは 2022 年お正月までです。

2022 年 2023 年は、似たようなコース設定になると思います。

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjoxMzAwMDJ9&detailFlg=0&pNo=14>

モデルコースを作って、各地のツアーをセットアップ、コースが発表されたら集客をかけていく流れとなります。